

V 水のマスタープランの実現に向けて

1 水のマスタープランの次段階以降について

本書では市域・ブロックにおける、望ましい水環境像を設定し、それに対して現況の問題・課題の抽出、その原因の把握、原因の改善項目の整理をしました。また、施策を設定するには具体的な目標・将来像を設定する必要があります。そこで、望ましい水環境を達成するため水のマスタープランの目標の設定、施策の選定、施策の選定のための効果の評価、水のマスタープランを速やかに実行するしくみづくりのために以下に示す項目について市民参画の上、検討する必要があると考えております。

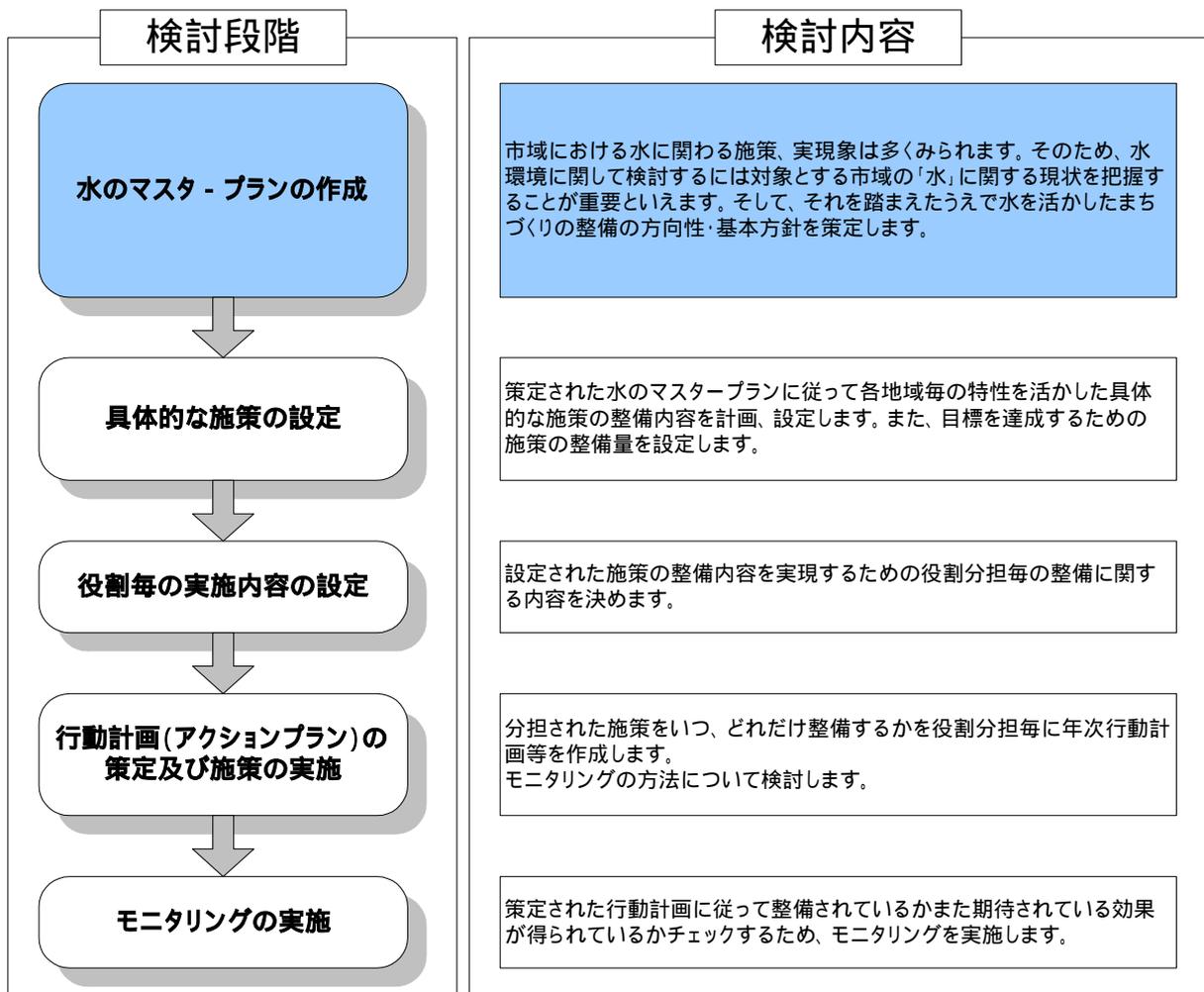


図 4 水のマスタープランの検討手順

2 水のマスタープランの市民参加について

「水のマスタープラン」を策定した後、具体的な施策によって事業等が推進されます。この段階では、計画ではなく実施であることから、市民活動は具体的な内容を伴うものであり、すでに役割分担が明確にされています。このようなことから、極めて実践的な活動をおこなうことができる団体から個人まで、幅広い活動によって支えられるのが望ましいといえ、次図に示すような仕組みが必要といえます。

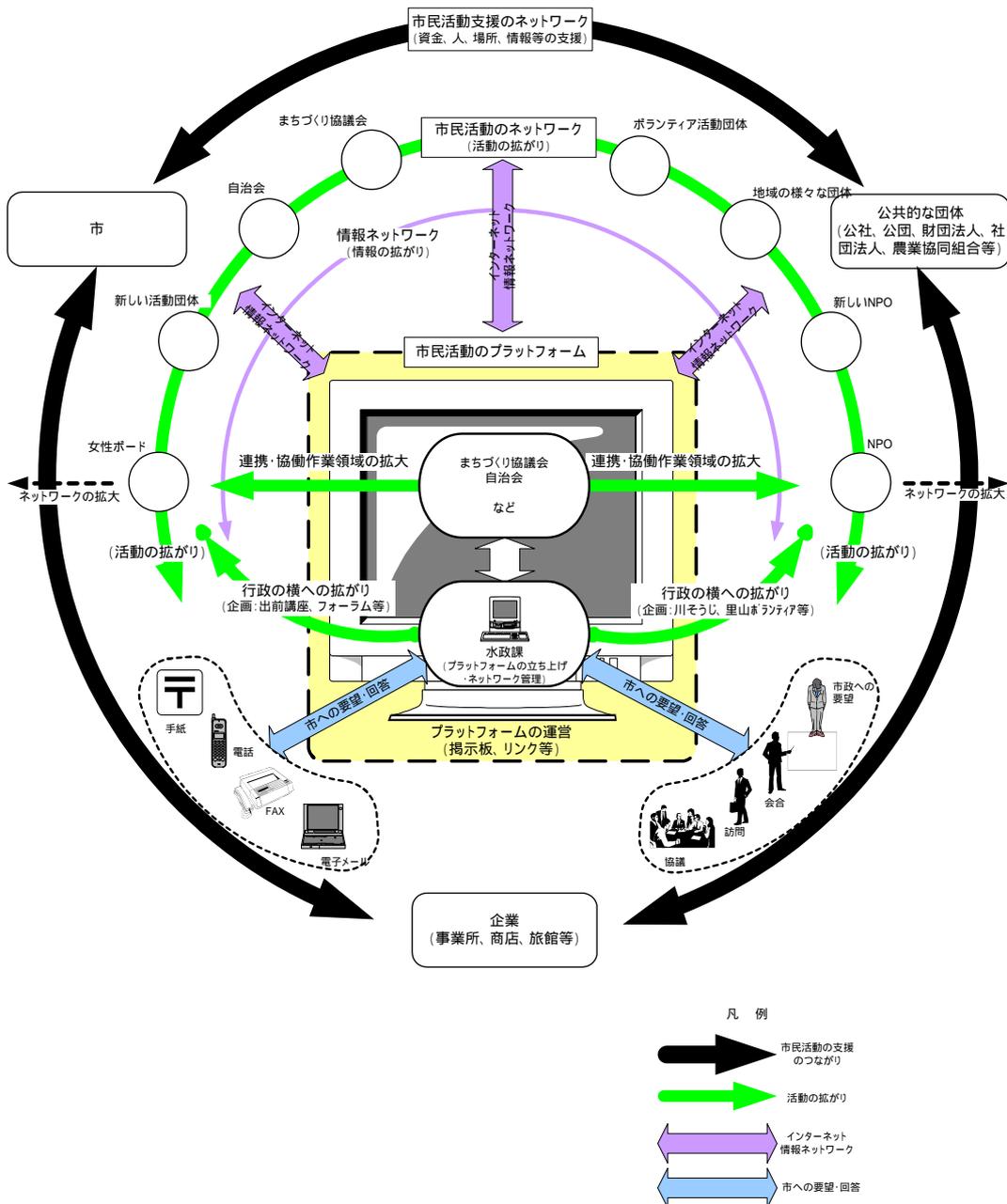


図 5 水のマスタープランの市民参加の仕組み（案）

表 5 水のマスタープランの市民参加の仕組み

視点	内容
市民活動のプラットフォーム	市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」必要な情報を得ることができ、どのような活動に参加できるか、話し合ったり考えたりできる、そんな「場」がプラットフォームです。このようなプラットフォームによって、市民と市及び企業等の連携・支援の輪が広がることが期待されます。
市民活動支援のネットワーク	市だけではなく、市内の企業や公社公団、農業協同組合等の公共的団体が連携して市民活動を支援する輪をつくることが望めます。これらの協力の輪は、資金、人、場所、情報等の社会的資源を積極的に提供し市民活動を支えることが望めます。
市民活動のネットワーク (多様性のある市民活動の輪)	市内には、自治会、まちづくり協議会、ボランティア団体、NPOなど幅広く活動している団体があります。今後は、これらの団体が十分な連携を図りながら、まちづくりの成果を高めていくことが期待されています。このためには、インターネットを利用した情報共有、連携の仕組みをつくり、更に市民活動の輪を広げていくことが必要です。

表 6 プラットフォームと市民活動の拡がり

視点	内容
プラットフォームの役割と運営	プラットフォームの中核部分は、市が担うこととなります。そして、市民の参加による協働作業が重要な役割を果たすことが期待されます。また、このプラットフォームで、市民とともに様々な企画を立案し、実現することが期待されます。
インターネット情報ネットワークの構築	これからは、インターネットを利用した「掲示板」等を開設して、多くの市民が意見やアイデアを話し合ったりできるよう、双方向の「場」を維持することを運営の基本と考えます。 (現在、市民と市の情報共有の仕組みは、市広報紙、コミュニティFM、有線テレビ、市ホームページ、その他手紙、電話、ふれあいトークなど様々です。これからは、これらの手段とともに、インターネットの利用を積極的に推進することとします。市民の電話や陳情等の直接的な意見やアイデア等を十分に受け止め、市政に活用することを今後も継続しますが、これらの情報も原則的に「掲示板」等に公開して活用できるようにします。)
市民活動の連携・広がり	「掲示板」の運営によって、様々な情報が市民と市及び市民間で共有され、活動する団体や個人等の横の連携が強まり、また、まちづくりの様々な分野への活動が広がるものと考えます。このような活動が、既存の自治会やまちづくり協議会、ボランティア団体、またNPOなど活動団体が更に大きく、広がりのある質の高い「市民活動のネットワーク」を生み出すことが期待されます。
今後の課題	今後、市民団体の増大と活動の活発化は、市民による積極的な施策提案等を生み出すことが予想されます。このようなことから市は、プラットフォームの運営に重点を置き、コンテンツ(施策等の内容)は、市民により提案されることも予想されます。このような市民活動が活発になるほど、NPOの役割と重要性が更に高まります。このようなことから、今後、市は、様々な分野で活動するNPOの支援に積極的に取り組むことが必要です。